

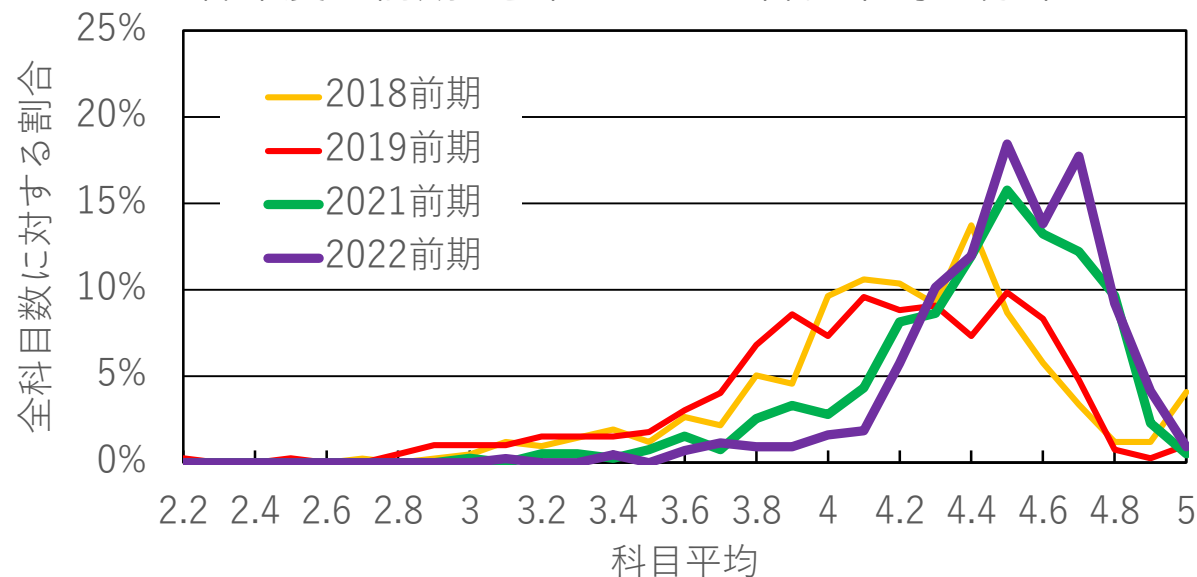
学生による授業評価アンケート結果2022

後期・通年における全科目の7項目の評価平均は、昨年度の4.39から4.50に向上した。分布をみると評価平均が4.2以下の科目が減り、4.4～4.8の科目が増加した。

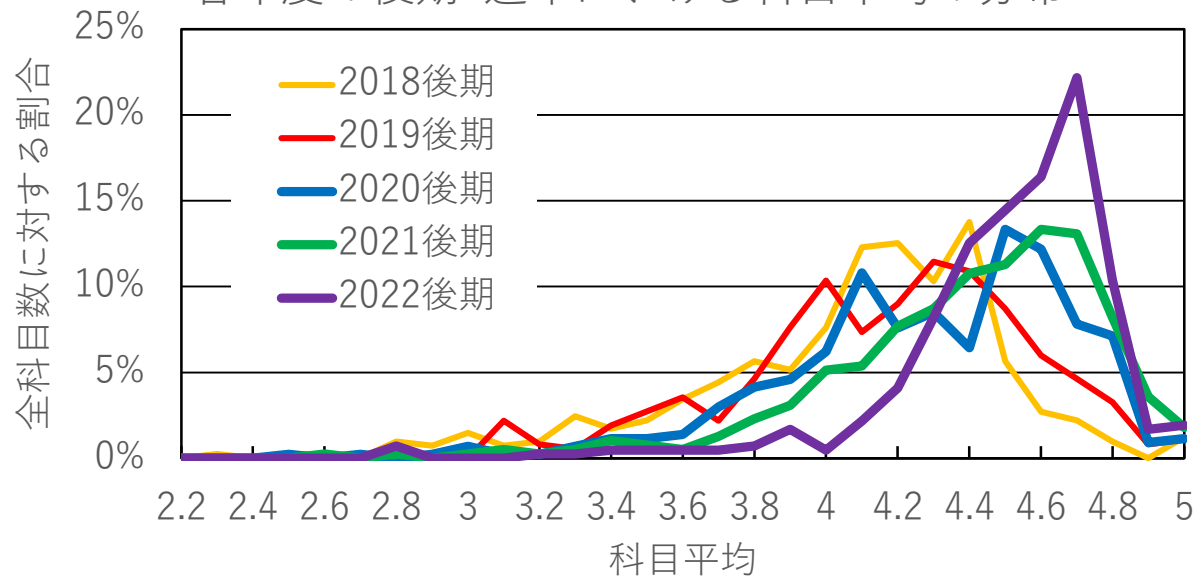
全科目の評価平均と標準偏差

年度	科目数	平均	標準偏差
2018前期	378	4.14	1.03
2018後期	380	4.05	1.05
2019前期	371	4.10	1.08
2019後期	367	4.16	0.83
2020前期	遠隔授業評価アンケートを実施		
2020後期	435	4.28	1.03
2021前期	393	4.41	0.94
2021後期	390	4.39	1.05
2022前期	434	4.50	1.11
2022後期	415	4.50	1.05

各年度の前期・通年における科目平均の分布



各年度の後期・通年における科目平均の分布



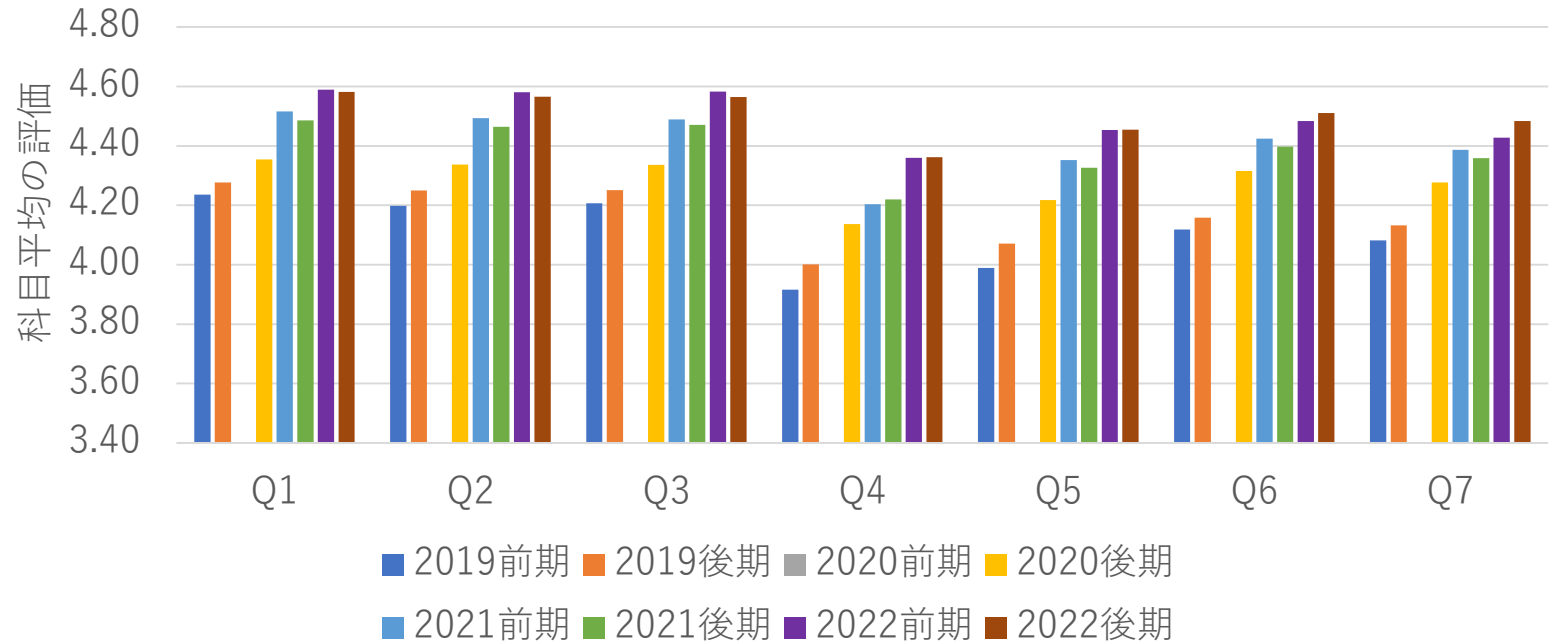
設問毎の評価の全科目の平均はどの設問も向上している。オンライン授業ツールを活用した授業の工夫や迅速で丁寧な配慮の効果と考えられる。

Q1～Q3：シラバス通りの授業内容、試験内容、成績評価における評価は高い。

Q4：授業の説明や資料の分かりやすさの評価は向上しているが、まだ改善が期待できる。

Q5～Q7：質問に対する丁寧な説明や到達度を確認させる取り組みが評価を向上させている。

設問毎の科目平均の評価の推移



- Q1 学習・教育目標と達成・到達目標，成績評価方法，教育内容や教育方法が，シラバスに記載されている，もしくは授業中に周知されている。
- Q2 授業や試験等の内容はシラバスや授業中の周知内容と同様であった。
- Q3 成績評価はシラバスや授業中の周知内容と同様であった。
- Q4 授業において提示された説明および資料は分かりやすかった。
- Q5 教員は学生の課題解答，試験答案，実技の評価の質問に的確に説明・指導を行なった。
- Q6 私はこの授業の内容を理解するために積極的に取り組んだ。
- Q7 私は練習問題や試験，実技を通して自分の理解や到達状況を確認しながら学習した。